

事 項	露地早熟メロンの整枝・摘果の省力化と安定着果		
ね ら い	<p>メロンの整枝作業は、着果、品質の確保に不可欠な作業であり、栽培期間中に数回行われるが、作業の適期幅が極めて狭く、整枝の中で最も重要な開花直前の整枝では着果確保のため目標の2倍の花数を残し、着果後に目標の果数に摘果しているため多くの労力を要している。この開花直前の整枝を適期に行い、残す花数を少なくするほど、摘果作業が省力となるので、整枝時に残す花数と着果、収量・品質の関係を検討したところ成果が得られたので参考に供する。</p>		
指 導 参 考 内 容	<p>1 4月は種の作型では、開花期直前に目標着果節位の雌花を1つる当たり2花に制限しトマトトーンの50倍液処理を行うことで、着果が安定して摘果の省略が可能となり、安定した品質・収量が得られる。</p> <p>2 5月は種の作型では、開花期直前に目標着果節位の雌花を1つる当たり2花に制限しても着果は安定し、摘果の省略が可能となる。変形果が増えることもあるが、大玉化により慣行以上の上物収量が得られる。</p> <p>3 雌花を1つる当たり2花に制限する開花直前の整枝の作業時間は、慣行とほぼ同等で、摘果の省略により5.4時間/aの省力が見込まれる。また、ホルモン処理を併用した場合でも、3.6時間/aの省力が見込まれる。</p>		
期待される効果	<p>1 摘果作業が省力化される。</p> <p>2 着果が均一となり、1果重が増加し安定生産につながる。</p> <p>3 栽培規模の拡大に寄与する。</p>		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成18年3月1日現在の農薬登録に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の「農薬登録情報」(http://www.maff.go.jp/nouyaku/)を確認する。</p> <p>3 整枝以外の栽培管理は慣行に準じる。</p> <p>4 ホルモン処理の有無に関係なく、交配にはミツバチを利用する。</p>		
担 当	青森県農林総合研究センター 砂丘研究部	対象地域	津軽地域
発表文献等	平成15～17年度 青森県農林総合研究センター試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 は種期・整枝法と着果

(平成15～17年 青森農林総研砂丘)

年次	整枝法			4花→2果		2花→2果		2花+T→2果	
	は種 月/日	開花 月/日	収穫 月/日	収穫果数 果/株	下物果率 %	収穫果数 果/株	下物果率 %	収穫果数 果/株	下物果率 %
平成15年	4/8	6/21	8/7	3.8	5.3	2.8	14.3	-	-
〃 16年	4/8	6/18	8/10	2.1	14.3	0.7	14.3	4.0	10.0
〃 17年	4/8	6/24	8/11	3.0	0.3	0.8	25.0	3.6	8.3
平成15年	5/13	7/24	9/5	3.9	0.0	3.9	7.7	-	-
〃 16年	5/13	7/16	8/26	4.0	2.5	4.0	0.0	4.0	2.5
〃 17年	5/10	7/13	8/30	4.0	0.0	4.0	2.5	4.0	5.0

4花→2果：1つる当たり4花果整枝→2果に摘果(慣行)

2花→2果：1つる当たり2花果整枝→2果着果、摘果なし

(日焼け防止のため、着花節隣の孫づるの葉を1枚にし残した)

2花+T→2果：1つる当たり2花果整枝+トマトーン50倍液処理→2果着果、摘果なし

表2 整枝法と着果、品質・収量(4月上旬は種、8月中旬収穫)

(平成17年 青森農林総研砂丘)

項目 整枝法	収穫果数 果/株	着果節位 節	1果重 g	糖度 Brix%	果形	ネット	花止まり	上物収量 kg/a
4花→2果	3.0	14.8	1,719	15.2	3.3	3.8	2.6	263
2花→2果	0.8	11.6	1,899	15.4	2.8	2.8	2.6	58
2花+T→2果	3.6	12.1	1,973	15.2	3.4	2.9	2.7	345

果形、ネット、花止まりの良否は5(良)－1(不良)の5段階で評価

上物収量は出荷規格の秀品及び優品の重量

耕種概要：品種：タカミ、セル育苗(50穴/トレイ)、施肥(kg/a)：窒素1.2,りん酸2.0,加里1.1、

栽植距離：うね幅2.7m,株間0.7m(52.9株/a)、かん水：マルチ下チューブかん水

表3 整枝法と着果、品質・収量(5月上旬は種、8月下旬収穫)

(平成17年 青森農林総研砂丘)

項目 整枝法	収穫果数 果/株	着果節位 節	1果重 g	糖度 Brix%	果形	ネット	花止まり	上物収量 kg/a
4花→2果	4.0	12.1	1,627	15.5	4.5	4.3	3.6	325
2花→2果	4.0	12.1	1,714	15.6	4.0	4.3	3.6	355
2花+T→2果	4.0	12.1	1,817	15.6	3.9	4.0	3.5	365

果形、ネット、花止まりの良否は5(良)－1(不良)の5段階で評価

上物収量は出荷規格の秀品及び優品の重量

耕種概要：品種：タカミ、セル育苗(50穴/トレイ)、施肥(kg/a)：窒素1.2,りん酸2.0,加里1.1、

栽植距離：うね幅2.7m,株間0.7m(52.9株/a)、かん水：マルチ下チューブかん水

表4 整枝等作業時間

(平成15、17年 青森農林総研砂丘)

整枝法	開花直前の整枝	整枝・摘果作業	ホルモン処理
4花→2果	4.2h/a	5.4h/a	-
2花→2果	4.1h/a	-	1.8h/a